

World Day Against Child Labour

2002年のこの日に児童労働に関する初めてのグローバル・レポートが審議されたことから、児童労働をなくすことを世界に広めるために定められた記念日。

人に1人の子どもが働いている？！

児童労働とは、義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている**18歳未満の危険・有害な労働**のことをいいます。



アフリカでは4人に1人、インドやバングラデシュでは40%以上の子どもが働いています。

児童労働は、2010年時点で**1億6800万人**いるとされています。これはつまり、子どもの**9人に1人**が働いていることになります。

働く子どもの1日 (例) 私たちの1日と比べてみよう。

5:00 起床。コーヒー農園に働きに行く (徒歩)

まだあたりは暗い。近所の子ともと一緒に農園へ。友達としゃべれる楽しい時間だけど、眠い。

7:00 農園で働く人たちの朝食の準備、水汲み、朝食、後かたづけ。

水のある場所まで汲みに行く。水はとても重く子どもの体にはきつい。食べたらおとなの分をおわせておとのかたづけをする。

8:00 コーヒー農園での仕事を始める。

コーヒーの育ち具合 (苗木を植える・育てる・収穫・収穫後) によって仕事内容が違う。この様に、季節労働のための仕事がない時期は他の仕事をするか、学校に通えることもある。

12:00 昼食準備・昼食・後かたづけ。

17:30 コーヒー農園の仕事を終え帰る。

18:30 夕食の手伝い、後かたづけ。

20:00 就寝。

児童労働には、様々な仕事が含まれます。農場や畑で、工場で、鉱山で、路上で…。中には有害物質が蔓延していたり、安全器具がない状態で、長時間働かされる子どもが多くいます。

児童労働として働く子どもたちは、教育を受けないはずの時間も仕事をしなければなりません。友達と遊ぶ時間どころか、少し休憩をしているだけで叱られたり、罰せられたりすることもあります。私たちに何ができるのでしょうか？



もらえる給料は1日約20~40円

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

Together, We Can CHANGE the World
はじめてみよう！あなたにできること。

- ・ FTCJのホームページで児童労働について詳しく調べよう
- ・ 児童労働反対キャンペーンに参加しよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！ FTCJ 活動ヒント 検索

